

大原通信

2014.11
Vol.1

OHARA TSUSHIN

Facebookで
情報発信中!

発行:
BMS南魚沼
スポーツコミュニティ

平成26年4月1日より大原運動公園の指定管理者が「BMS南魚沼スポーツコミュニティ」に変わりました。地域住民の生涯スポーツ推進と健康づくり支援、そしてスポーツ文化の発信、地域経済の活性化に貢献することを目指しています。市民の皆さんから広く大原運動公園を知ってもらうため活動報告をしていきます。

ルートインBCリーグ 公式戦2試合開催

3月に完成した野球場のこけら落としとなるBCリーグ公式戦が、5月25日に行われました。2012年から建設を進めてきた真新しい球場は、両翼100m、センター122mとプロ野球でも使える規格で、収容人数は約3000人。外野の人工芝は耐雪試験にパスしたものを採用しています。天然芝に近く、ボールのバウンドや転がりを極力妨げない高品質となっておりますので、市民の皆さんにも実際にプレーしてもらいたいと感じています。

試合前の式典では南魚沼市井口市長が「青少年の夢を育む聖地にしたい」とあいさつしました。「立地の上でも拠点にできる」とルートインBCリーグの村山代表。始球式に臨んだ塩沢中1年、腰越鈴華さんは「素晴らしい球場なので、

5月25日のこけら落としで来場者へ配布された新潟アルビレックスBCのオレンジカードを掲げ、スタンドはオレンジ色に染まった



ここで試合がしてみたい」と笑顔でした。

新潟アルビレックスBC対群馬ダイヤモンドベガサスの前期首位攻防戦は、地元出身の阿部拳斗投手が新潟の予告先発だったこともあり、市民ら2476人が観戦に訪れ、熱い声援を送りました。試合は新潟が4対7で敗れましたが、9月13日に行われました信濃グランセローズ戦では見事5対2で勝利を収めました。これから地元アルビレックスを市民の皆さんと一緒に応援して行きたいと思

市制施行10周年記念 東京六大学野球 オールスターゲーム

8月23日、「東京六大学野球オールスターゲームin南魚沼」が開催されました。市政施行10周年記念事業として、そして大原運動公園野球場の完成披露の意味を込めて行われたものです。東京六大学野球を神宮球場以外の場所で開催できることはめったになく、今回はその貴重な機会となりました。試合は、慶大、立大、法大から



東京六大学オールスターは1点を争う好ゲームを展開

の選拔選手で構成されたチーム・マウント八海(はっかい)と、早大、明大、東大の選拔選手からなるチーム・マウント巻機(まきはた)の対戦。各大学のエース、主力選手が勢揃いし、まさに「東京六大学・夢の球宴」でした。今回のようなオールスターゲームは、2010年に愛媛県松山市で開催されたのが最初でその後12年に東日本大震災の復興チャリティとして、宮城県仙台市で東北、南東北、仙台六大学の各大学野球連盟選抜と東京六大学選抜が対戦したことがあるそうです。

当日は、前日からの雨も朝には上がり、清々しい青空が広がる絶好の野球日和。グラウンドの水はけの良さもあり、最高のコンディションに。スタンドは2450人の観客が集まりました。

試合は、ドラフト候補にも名を連ねる投手の継投により、両チームとも得点できないイニングが続きました。6回裏、二死二塁の場

東京六大学リーグと、南魚沼市野球連盟などの関係者による記念撮影



面で代打・畔上翔(法大)がライト前に適時打を打ち、八海が1点を先制。結局、これが決勝点となり、八海が勝利を収めました。新潟の日本文理高出身で、明大の高橋隼之介主将は「生まれ育った新潟で試合ができることをとてもうれしく思います」と、とても有意義な試合になったようです。なお翌日の24日に同球場で出場選手による野球教室が開催されました。参加した地元の野球少年86名は大満足の様子。南魚沼市の野球発展につながる貴重な交流となったようです。野球場は今後、BCリーグはもとより、NPB二軍戦、高校野球の公式戦などの開催を目指して行きますので、球場へ足を運んでいただけたらと思います。

県内最大規模の
テニスコート
20面を完備



野球場を開放して
グラウンドゴルフも
行われた



球場内多目的ルームで
行なわれた
「女性だけの初心者体験
ヨガ教室」の様子



子どもたちに
打撃指導をする荒木氏

参加した中学生たちは
順に荒木氏と記念撮影



その他イベントも 充実開催!

大原運動公園では様々なイベントを企画中です。6月にはグラウンドゴルフを実施しました。グラウンドゴルフは高度な技術がなくても誰でも簡単にプレーできます。

県内最大規模20面を誇るテニスコート(砂入り人工芝)では、小学生から大人まで各種大会での熱戦が繰り広げられ、球場内の多目的ルームでの「女性だけの

初心者体験ヨガ教室」は大好評につき増枠したほどです。

多目的運動場も平成27年5月にオープン予定で、サッカーなど他競技で利用可能となります。イベント情報は大原通信やフェイスブックで市民の皆さんにお知らせしていきますので、ぜひ参加ください。

元ヤクルト 荒木大輔氏による 野球教室を開催

8月3日、プロ野球元ヤクルトの荒木大輔氏による野球教室が行なわれました。南魚沼市野球連盟主催で市内4つの中学から約100人が参加。晴天にも恵まれ絶好の野球日和となりました。

午前中はキャッチボールの基本と、守備練習をメインに。午後は打撃指導で、トップの

形の作り方からインパクトでボールに力を伝えるためのスイングを指導してもらいました。子供たちは元プロ野球選手から教えてもらおうとあって、少し緊張した面持ちでしたが、充実したプログラムを消化することができたようです。

今回の野球教室は、大原運動公園のサポーターズ企業様による協賛金の一部を活用させてもらいました。大原では、スポーツ人口の拡大と地域スポーツの発展、さらに将来的に南魚沼からオリンピックやプロスポーツ選手の育成、そしてスポーツを通じた地域活性化も目指しております。BMSでは今後もサポーターズ企業様による協賛金を有効活用させていただき、このような講習会や、体力測定、トレーニング指導などのイベントを開催して行きたいと思っております。

大原から世界へ挑戦!

Nippon

サポーターズ企業一覧(順不同)

コカ・コーライーストジャパン(株)	ダイドードリンコ(株)	ヨネックス(株)
中越運送(株)	魚沼アスコン	(株)カネカ建設
うおめま創友農園(株)	新潟セルテック建設(株)	(株)苗田組
小島電設(株)	富山電気(株)	(株)舞子リゾート
(株)阿部製作所	新潟総合警備保障(株)	(有)ソフィアテック
(株)ベースボール・マガジン社	ミズノ(株)	(有)サトウスポーツ

営業案内

夏季最終営業日 **11月16日**まで

※テニスコート1~8面のみ

11月24日(月・祝)まで営業(9:00~16:00)

冬季
営業

11月17日~4月26日(予定)

営業日: 平日8:30~17:30

(土日祝日は休業※イベント時営業)

連絡先・
お問い合わせ

指定管理者/ BMS南魚沼スポーツコミュニティ
構成団体/ 株式会社ベースボール・マガジン社

ミズノ株式会社

有限会社サトウスポーツ

住所/ 〒949-6424 新潟県南魚沼市万条新田417
大原運動公園管理事務所(野球場内)

連絡先/ TEL025(783)3533 FAX025(788)0247